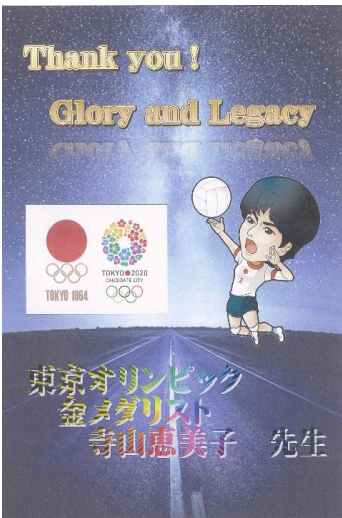


# 平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

## 道府県・政令市名【茨城県】

1 実践テーマ	【I、IV、V】
2 実施対象者	城里町立七会小学校 全児童79名，教職員12名 保護者・地域の方々39名 合計130名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 1 教科名 ( ) ② 行事名 ( オリンピアンを招聘した講演会 ) 3 その他 ( ) (2) 地域における活動 1 イベント名 ( ) 2 その他 ( )
4 目標 (ねらい)	2020年に開催されるオリンピック東京大会に向け，トップアスリートの計り知れない努力や卓越した才能等を，オリンピックの歴史や功績とともに学び，人間のもつ優れた可能性を追求する精神を育む。
5 取組内容	1 オリンピック・パラリンピックについて，関連図書による紹介・講演会前に実施した読書集会の中で，オリンピック・パラリンピックの図書を紹介し，図書室及び学級での貸し出しを実施 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;紹介図書&gt;  「心にのこるオリンピック・パラリンピックの読み物」 出版社：学校図書  「パラリンピックってなんだろう」 出版社：文研出版  「オリンピックまるわかり事典」 出版社：PHP研究所</p> </div> 2 金メダリスト寺山恵美子氏を招いての講演会の実施 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>講師 寺山 恵美子（てらやま えみこ）  ※旧姓 宮本  日立市在住。元女子バレー選手。  1964年「東京オリンピック」  女子バレーボール日本代表。  金メダリスト。</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"> <p>&lt;掲示用ポスター・  配付用リーフレット&gt;</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>

## <講演会日程>

### <第1部>

- 1 オープニング
- 2 講師及び関係者紹介
- 3 講演会  
講師:第18回オリンピック東京大会  
女子バレーボール  
金メダリスト 寺山 恵美子 先生  
演題:「オリンピックと私」

### <第2部>

- 1 児童からの感想発表
- 2 花束贈呈
- 3 謝辞
- 4 児童代表お礼のあいさつ  
※国体ダンス発表
- 5 記念写真撮影

- ・茨城陸上競技会理事 中嶋正夫 氏と講師との対話方式で進行
- ・当時の実際の秘蔵映像や写真を見ることで、オリンピックをまさに目の前で見ていたような臨場感を感じることができ、スポーツに関する興味関心が高まった。



- ・講演会の最後に実物の金メダルを横に児童一人一人と握手していただいた。



## 6 主な成果

- ・「あなたの失敗は、私の失敗である」「1に練習、2に練習、とにかくあきらめないで頑張る」という寺山先生のエールは、スポーツに取り組む児童にとって大きな励みとなった。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会の中で、和歌山の博物館に寄贈していた「金メダル」を参加者全員が触れられる機会をいただいた。</li> <li>・3年生から6年生の児童で国体ダンスを披露した。いばらき国体開催に向けて練習している取組の発表の場となった。</li> <li>・講演会実施後、各クラスに配付したバレーボールを使って、昼休み等に運動に親しむ児童が増えた。また、体育の時間では以前にもまして、意欲的に運動に取り組む姿が見られる。</li> <li>・事前に紹介したオリンピック・パラリンピック関連図書を読む児童が増え、オリンピック・パラリンピックへの関心が高まった。</li> </ul>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会の実施にあたって、教師主導ではなく児童たちが準備の段階から関わられるようにした。代表委員会を中心に話し合いをもち、温かい雰囲気をつくるための体育館の装飾を全部児童の手作りで行ったり、感謝の気持ちを伝えるために、国体のダンスの発表を準備したり、寺山先生をお迎えする日まで一生懸命練習に取り組んだ。</li> <li>・当初は、講師の先生による実演や実技指導などを計画していたが、高齢であることを考慮し講演会の実施とした。講演会を対話形式にしたことで、1年から6年生まで飽きる様子もなく集中して真剣に話を聞くことができた。</li> </ul>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の事業は、2020年に開催されるオリンピック東京大会に向けて、自分たちがどのような形で関わっていくことができるかについて考えるいい機会となった。今後、単なる傍観者にならないために「日本人のよさ・おもてなしの心」について話し合う機会などをもち、世界中のオリンピックを日本でどうお迎えするか、自分たちができることを考えていくことが課題である。</li> </ul>
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「2020年オリンピック東京大会」をより身近に考えさせるためにも「マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成」に取り組んでいきたい。</li> </ul>